

第1回社会教育委員会議	
開催日時	令和6年5月28日(火) 午後3時30分～午後5時45分
会場	ふるまち庁舎 4階 401会議室
出席者	<p>【社会教育委員】 今井 岳、江口 和美、小倉 壮平、木村 いほ子、佐藤 裕紀 司山 園美、白神 道子、竹田 暢美、羽賀 万起子、長谷川 雅朗 山岸 則子 計11名 ※敬称略</p> <p>【事務局】 生涯学習センター所長、中央図書館長、教育総務課教育政策室長 生涯学習推進課長、生涯学習推進課職員6名 計10名</p>
内容	<p>1 開会</p> <p>2 生涯学習推進課長あいさつ</p> <p>3 委員自己紹介</p> <p>4 職員自己紹介</p> <p>5 議長・副議長の選出 ○議長に佐藤裕紀委員、副議長に江口和美委員が選出されました。</p> <p>6 報告事項 (1)社会教育委員について ○報告資料1に基づき、事務局より社会教育委員について説明しました。 【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会議の調査・研究テーマは個々のメンバーで何をするか決めるものか。諮問やお題の提示はないのか。 →今のところ事務局から諮問の予定はない。今年度生涯学習推進課では、社会教育に関するニーズ調査を検討しており、年間5回程度の会議の中で、その都度委員のみなさまからご意見を頂戴したいと考えている。 ・条例には建議しなければならない規定はないが、アウトプットが建議であることはマストなのか。事務局から何かしらテーマについて方向性を示してもらい、より実効性のあるものにした方がいいのではないか。 →条例にある通り必ず建議してほしいということではなく、これまでの新潟市社会教育委員会議の特徴の1つとして、意見交換をしながら建議を重ねてきている状況である。 ・過去に教育委員会へ提出した建議書や報告書の内容がどのように施策に活かされたのか、何かしらで閲覧することは可能か。また、活かされていない場合は何か理由があるのか。 →第35期新潟市社会教育委員会議の建議については、協議資料1のとおり、今後各部署が対応し、教育ビジョンや施策に活かしていきたい。その前の建議については現在把握できておらず、実施状況がお示しできない状況。 <p>(2)新潟市教育ビジョンについて ○報告資料2に基づき、教育総務課教育政策室長より新潟市教育ビジョンについて説明しました。</p>

<p>内 容</p>	<p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育大綱やすこやか未来アクションプランとの整合性はどのように図るのか。 →教育大綱はこれから教育ビジョンに併せて策定する予定であり、教育ビジョンの策定には教育委員会だけでなく、市長部局にも参加いただき進めており、整合性を図るよう努めている。 ・ICT 機器の利活用による学習活動の充実にかかる成果について教えてほしい。 また、子どもの意見聴取はどのように行うのか。 →本市の子どもたちへのタブレット配置は全国トップクラスであるが、ICT 機器の利用におけるモラルやリテラシーを益々大事にしていく必要があると考えている。子どもの意見聴取については検討中であるが、昨年度各区 2 校ずつ保護者、市民、子どもたちへアンケートを取っており、今後施策に活かしていく。 ・社会教育委員が教育ビジョンの策定について意見を述べる機会はあるか。 →現在想定しておらず、何かご意見等ある場合はパブリックコメントを頂戴したい。 <p>(3)教育委員会の組織について</p> <p>(4)令和6年度社会教育関係予算について</p> <p>(5)社会教育委員会議開催日程及び各種大会日程について</p> <p>○報告資料3から5に基づき、事務局より各項目について説明しました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市の不登校対策の現状について、何かしら資料はもらえるか。 →後日お示しできるものをメールで送付させていただく。 <p>7 協議事項</p> <p>○協議資料1に基づき、事務局より令和6年度生涯学習・社会教育関係課の組織再編等について説明しました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域移行はどの部署が担当か。また地域と学校パートナーシップ事業とのすみわけはどうなっているか。 →部活動の地域移行は学校支援課地域クラブ推進室が取り組んでいる。部活動の地域移行と地域と学校パートナーシップ事業は内容が異なっている。 <p>○協議資料1の説明を踏まえ、第36期新潟市社会教育委員会議の進め方について意見交換を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査・研究テーマの検討をするために、現状把握に資するような資料を提示してほしい。 ・実効性をよリモたせるために過去に出した建議を深掘していくのはどうか。また取りこぼしている内容があれば、それについて調査・研究するのはどうか。 ・第34期新潟市社会教育委員会議の緊急提言を発展して、コロナ禍が明けてからの公民館の集客に関することについて調査してみたい。 ・学校と公民館や図書館等の各公共施設の交流について模索したい。 ・まずは各社会教育委員のバックグラウンドを共有し、そこから具体的な課題を見つけたい。 ・今期の社会教育委員は学校関係者が多いため、どうしても「子どもと学校」における社会教育の繋がり観の観点に偏ってしまうが、社会教育委員の職務は青少年及び成人に対するものであるため、テーマが絞られてしまうのはいいのだろうか。 ・社会教育関係課や教育委員会の各部署に、今抱えている課題をプレゼンテーショ
------------	--

<p>内 容</p>	<p>ンしてもらうのはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やはりまずは過去の建議で提案されたものについて実施されたもの、実施されなかったものを整理するべきではないか。 ・組織再編により新しい形になった生涯学習推進課に期待することをまとめるのもいいかもしれない。 ・建議という形で何かしらの調査・研究をし、それ以外にも意見交換や勉強会を行ってみるのはどうか。 ・日頃の活動では自分たちで行動することを大切にしているが、社会教育委員会議は活動をしてはいけない場であるのか。 ・社会教育委員として行うのであれば、事務局に事前に相談するのがいいのではないか。 <p>8 閉会</p>
<p>傍聴者</p>	<p>0名</p>
<p>会議資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第36期新潟市社会教育委員会議（第1回）次第 ・報告資料1 社会教育委員について ・報告資料2 新潟市教育ビジョンについて ・報告資料3 新潟市組織機構図（教育委員会事務局・社会教育関係） ・報告資料4 令和6年度当初予算事業説明書 ・報告資料5 第36期新潟市社会教育委員会議日程（令和6年度） ・協議資料1 令和6年度 生涯学習・社会教育関係課の組織再編等について ・資料番号なし 新潟市社会教育委員に関する条例 ・資料番号なし 新潟市社会教育委員の会議運営規則 ・資料番号なし 第36期新潟市社会教育委員名簿 ・参考資料 新潟市教育ビジョン第4期実施計画 ・参考資料 第35期新潟市社会教育委員会議 建議「社会的包摂の実現に向けた社会教育のあり方」